

なぜTOEICは時間切れになるのか

授業用サマリー

大前提：TOEICのリーディング（75分・100問）は、テスト戦略と読解スキルを持った人間がちょうど解き切れる設計です。時間切れはあなたの英語力の失敗ではなく、**対応すべきスキルがまだ身につけていない**だけです。

8つのボトルネック

① 目の動き

ページを「検索」できない

スマホの縦スクロールで、目が受動的になっている。TOEICは横方向・能動的なスキャンが必要。

目のスキル

② 語彙・コロケーション

単語は知ってる。でも止まる

孤立した単語は知っていても、長文の流れの中で瞬時に処理できない。フレーズ（meet a deadline など）も同様。

語彙スキル

③ 単語の処理方法

文字として読んでいる

B-U-D-G-E-T と1文字ずつ処理している。速い読み手は「BUDGET」を一瞬でひとつの意味として認識する。

脳の処理

④ 記憶の容量

文末で文頭を忘れる

単語の解読にリソースを使いすぎると、意味を保持するスペースが残らない。集中力の問題ではない。

脳の処理

⑤ 読みのリズム

渋滞 vs 高速道路

止まって・戻って・また止まる読み方は、スムーズに進むより疲れる。後半になるほど集中が切れる。

処理速度

⑥ 記憶の種類

「知ってる」と「出てくる」は別

単語帳で覚えた感覚は「見て思い出す」力。本番で必要なのは「自分で引き出す」力。練習方法が違う。

テストスキル

⑦ パッセージの慣れ

毎回ゼロから読んでいる

TOEICのパッセージには型がある。「またこのパターンだ」と分かれば処理が速くなる。慣れていないと毎回消耗する。

テストスキル

⑧ 頭の中の声

脳内で音読している

黙読しながら頭の中で読み上げていると、読む速度が「話す速度」を超えられない。カタカナ変換も同じ問題。

処理速度

この8つは連鎖している

目が遅い → 語彙で止まる → 単語を文字で処理 → 記憶がパンク → 疲れる → 本番で出てこない → パターン未定着 → 脳内音読で上限
→ **Part 7 時間切れ**

時間配分の目安

リーディング 75分の内訳

Part 5 (30問) **10~12分**

Part 6 (16問) **12~15分**

Part 7 (54問) **48~53分**

よくある間違い

Part 5に時間をかけすぎる

分からない問題に固執する

Part 7を先読みせずに読む

正直なところ

この8つを全部いっぺんに解決する必要はありません。まず「最後まで解き切れる」ようになること——それが最初のゴールです。500点台 → 600点台への橋渡しから始めましょう。